

鳥取県中部の地震の震源断層モデル（滑り分布モデル）

SAR（だいち 2 号）及び GNSS で観測された地殻変動を基に推定された滑り分布モデルの特徴は以下の通りである。

- 1) 北北西－南南東走向の垂直な断層面上における左横ずれ運動が推定される。
- 2) 滑りの中心域は、震源よりやや北側の深さ約 5 km に位置する。
- 3) 推定された地震モーメントは 2.64×10^{18} Nm（モーメントマグニチュード：6.21）である。

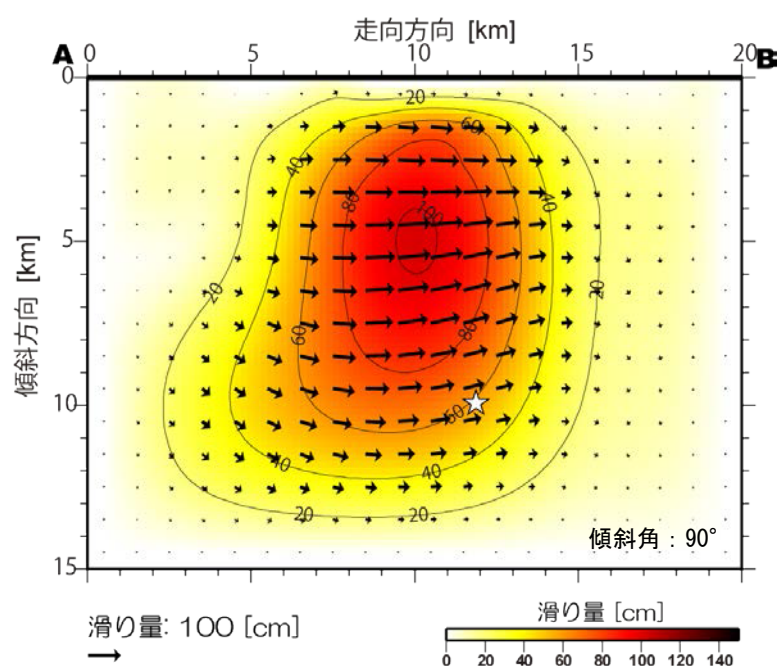


図 1 滑り分布モデル。☆印は、震源の断層面上への投影位置。

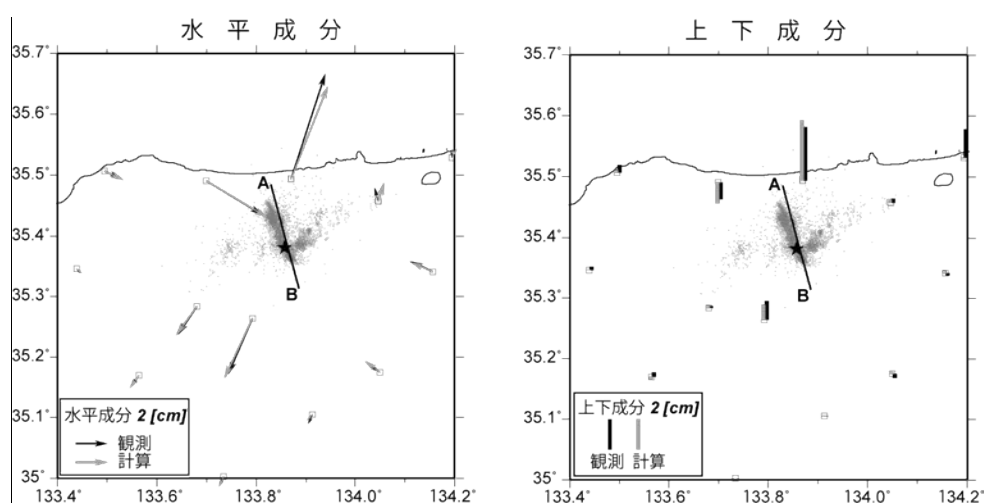


図 2 GNSS データの観測値と計算値。

（左）水平成分、（右）上下成分。実線は断層の上端位置。★印は震源。

灰色点は余震（気象庁一元化震源：2016/10/21～2016/10/27）。

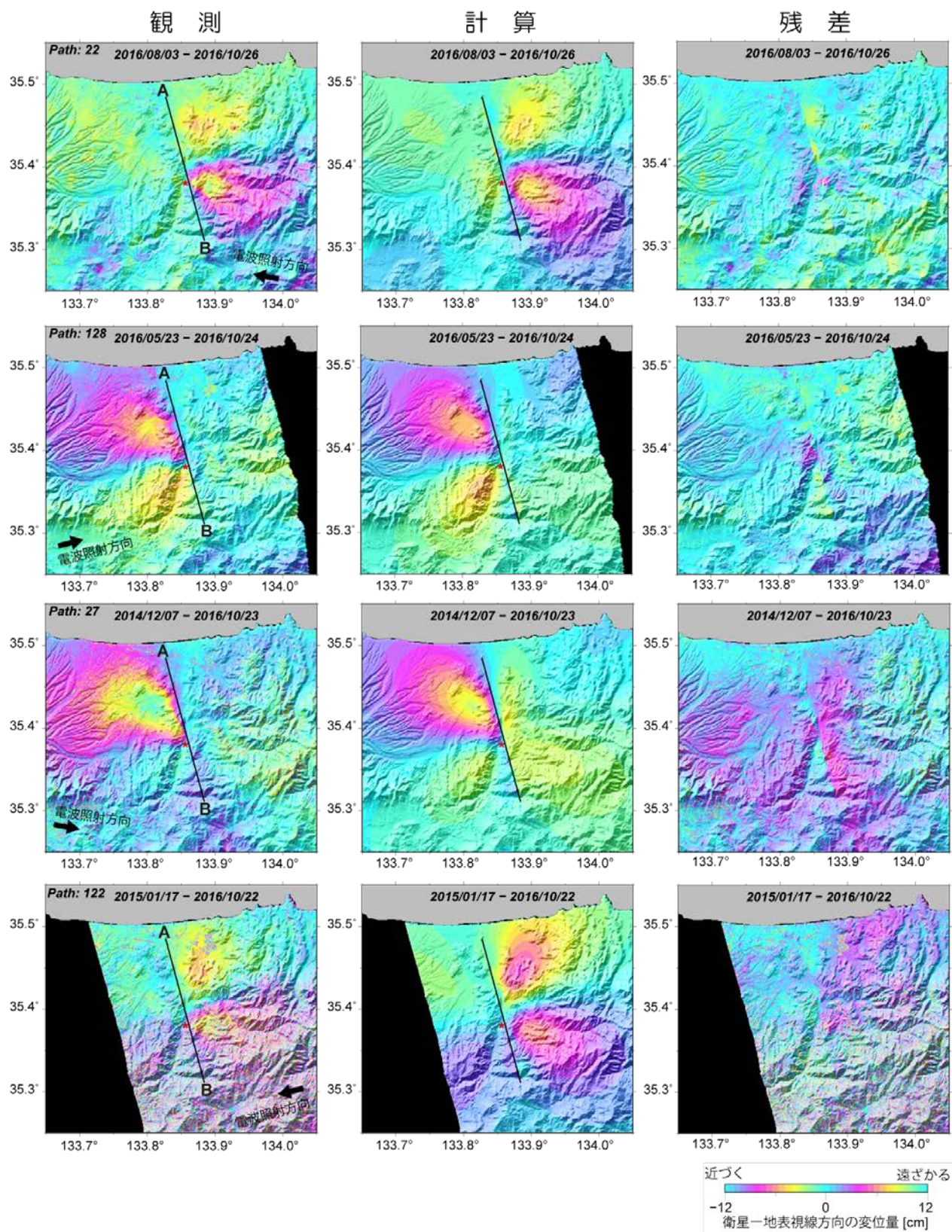


図3 干渉 SAR 画像の（左）観測値、（中）計算値、（右）残差。実線は断層の上端位置。★印は震源。

本研究で用いた ALOS-2 データは、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループを通じて、（国研）宇宙航空研究開発機構（JAXA）から提供を受けました。原初データの所有権は JAXA にあります。